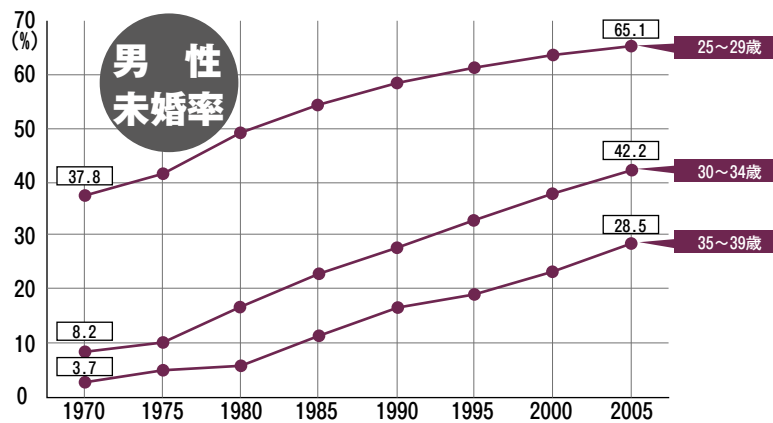
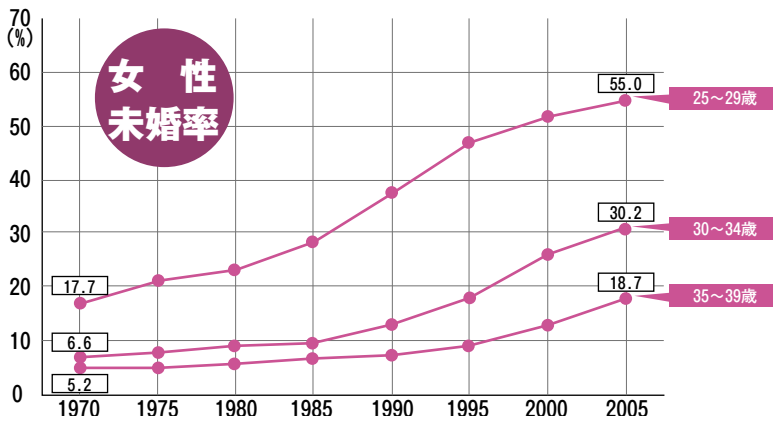


えがお
「愛顔」は「愛媛」にあります。



左のグラフのとおり、未婚率は年々上昇し、少子化の主な要因と考えられています。その対策の一つとして、独身男女の出会いの場の提供が求められています。

なぜ、婚活事業が必要なの？

婚活のすすめ

あなたの身近に「素敵な出会い」はあります

愛媛県では、少子化対策の一つとして、「えひめ結婚支援センター」を設置し、男女の出会いの場を提供する婚活事業が進められています。今回は、独身の男女であれば、どなたでも参加することができるイベントやお見合い事業について、ご紹介します。

えひめ結婚支援センターとは？

愛媛県が独身男女の出会いの場を提供する公的機関として設置し、その運営を「社団法人愛媛県法人会連合会」に委託しています。

どんなイベントをしているの？

「de 愛イベント」として応援企業が主催する交流パーティー、日帰りバスツアー、体験教室、自分磨き講座など、さまざまなイベントが開催されています。

イベントの情報は、メルマガ登録をすればメール配信されます。詳しくは、ホームページをご覧ください。



大洲市のイベントはないの？

大洲市では、えひめ結婚支援センター応援企業イベントとして、「大洲 de イベント vol.1 with リジエール大洲」を開催します。スイーツパーティーとして、0級グルメスイーツ入賞作品をはじめとしたスイーツbuffetやケーキデコレーション体験などを予定しています。

【開催期日】 2月26日(日)

【場 所】 リジエール大洲

【募集人数および条件】

男性16人(25~45歳くらいまで)

※大洲市在住の人を優先します。

女性16人(25~45歳くらいまで)

【参加費用】 1500円

【申込方法】

えひめ結婚支援センターのホームページから申し込んでください。(郵送や電話での申し込みはできません。)

【問い合わせ先】

企画調整課地域政策係

☎2422111 (内線5250)

あとは「出会い」だけ。

- ① 会いたい相手の検索
閲覧予約をし、「愛結びコーナー」で情報を閲覧します。会いたい相手が見つければ、お引き合わせ申し込み（一回につき3人まで）をします。
- ② お引き合わせの日時調整
申込相手の承諾があれば、お引き合わせの日時を調整します。
- ③ お引き合わせ
愛結びサポーターが同席し、お引き合わせします。（交通費・お茶代として、1人2000円が必要となります。）
- ④ 交際意思確認
愛結びサポーターが交際意思を



イベント以外の出会いはないの？

結婚を希望する
独身男女が自身の
プロフィールを登
録し、その情報を
閲覧して会いたい
異性を探していた
できます。お相手
の承諾後、お見合
いをするというものです。個別に
お引き合わせをする1対1のお見
合い事業、「愛結び」を今年10月
から始めました。

お引き合わせまでの流れは？



☎ 6705

尾張屋ビル2階
大洲市 中村長畑2-10番地39

大洲、宇和島、松山、西条の4
か所にあります。
南予地区大洲「愛結びコーナー」
大洲喜多法人会隣接

愛結びコーナーはどこにあるの？

大洲、宇和島、松山、西条の4
か所にあります。
南予地区大洲「愛結びコーナー」
大洲喜多法人会隣接
尾張屋ビル2階
☎ 6705

⑤ 交際

お互いに連絡を取り合い、交際
をスタートさせてください。（交
際は、愛結びサポーターがフ
ォローします。）

確認し、交際の意思があれば、お
互いの住所、名前、電話番号を伝
えます。

「愛顔」は「愛媛」にあります。

あとは「出会い」だけ。



えひめ結婚支援センター
コーディネーター 石井美奈子さん

えひめ結婚支援センターのコー
ディネーターとして、de愛イベ
ントを開催するために、南予を中
心に業務を行っています。南予は
第一次産業に従事されている人が
大勢いらっしゃるため、そういつ
た人たちとのイベントも数多く担
当しています。

えひめ結婚支援センターでは、
多人数でお会いいただく「de愛
イベント」と、1対1でお会い
いただくお見合いの「愛結び」があ
ります。

平成23年11月30日現在、de愛
イベントの情報がメール配信され
るメルマガに登録している人が約
8700人となっていて、de愛イ
ベントの開催も708回を数えま

す。実際にイベントに参加してカッ
ブルが成立したのが2673組で、
その内、成婚のご報告があっただ
けでも120組にのぼります。

結婚のご報告をいただくと、や
はり嬉しいです。「センターのみ
なさんのおかげで、僕たちは出会
えました」というお声をいただい
たときは、思わず涙がにじみまし
た。

センターのもう一つの事業であ
る「愛結び」については、平成23
年11月30日現在、お申し込みが約
1400人、登録者数が約900
人となっていて、実際に161組
をお引き合わせしました。

出会いを求めている独身男女の
みなさん、ぜひ「de愛イベント」
のメルマガや「愛結び」に登録し
て、イベントなどに参加してみ
てください。「出会い」は、自分が
積極的に行動して、初めて訪れる
ものです。えひめ結婚支援センタ
ーでは、これからも独身男性、女
性を応援していきます。



防災・減災の輪を広げよう



市内全地区に設立されている33の自主防災組織間の連絡体制の強化と災害時における協力体制を確立するため、大洲市自主防災組織連絡協議会が設立されました。10月26日(水)に開催された設立総会では、規約の承認後、会長・副会長の選任があり、次のみなさんが就任されました。

会長 松岡昇平 (大川)
副会長 西山和夫 (豊茂)
副会長 松尾國和 (肱川中央)
副会長 榮野安廣 (北平)
(敬称略)

今後は、自主防災組織の地区防災活動を行う一方、関係機関と連絡調整を図り、情報の交換と共有

などを行いながら、地域に密着した防災対策の推進や防災体制の確立を図っていきます。

また、大規模災害時に重要となる組織間の連携や、避難所の運営など、地域防災力を高め、安心して生活できる地域づくりの実現を目指した訓練などを、合同で実施していきます。

会終了後、東日本大震災における緊急消防援助隊の活動状況について、大洲地区広域消防事務組合の萬奥専門員兼救助係長から支援活動について報告がありました。協議会の会員のみなさんは、実際に支援活動に従事された萬奥専門員の報告に、熱心に耳を傾けていました。



大洲市学校給食センター新築工事起工式



11月25日(金)、大洲市富士で大洲市学校給食センター新築工事起工式が執り行われました。

現在、大洲市には大洲、肱川、河辺地域にそれぞれ学校給食センターがあります。大洲と肱川の施設や設備が老朽化しているため、両施設を統合し、新しい学校給食センターを建設するものです。

起工式で清水市長は、「市で初めてPFI(民間資金などの活用)による社会資本整備」方式を導入し、学校給食センターを建設することになった。子どもたちの安全・安心のために、給食センターの建

て替えは必要。地元の食材を使用するなど献立から見直し、子どもたちへの食育を推進したい。素晴らしい施設が建設されることを願う」と述べました。

新しい学校給食センターの調理能力は4300食を見込んでいて、見学や試食もできる施設となっています。

この施設は来年の夏までには完成し、2学期から大洲、肱川地域の小・中学校および幼稚園と、これまでミルク給食のみとなっていた長浜地域の小学校とを合わせた34施設の子どもたちに給食が提供されることになります。



完成予想図



11/13(日)

ことしものにぎやかに！ ～第25回豊茂ふるさとまつり開催～

豊茂小学校グラウンドを会場に、恒例の「豊茂ふるさとまつり」が開催されました。今年度末の閉校に伴い、豊茂小の児童にとっては小学校を舞台に開催する最後の「豊茂ふるさとまつり」となりました。

カラフルな風船に児童たちの夢や希望をつづったメッセージが添えられ、オープニングセレモニーでその風船が一斉に空高く舞い上がると、会場に大きな歓声が上がりました。

会場内では、新鮮な野菜や米などが並ぶコーナーやバザーも大盛況で、特に杵つき餅には買い求める行列ができるほどの人気ぶりでした。そのほかにも郷土芸能、獅子舞、バンド演奏、餅まきなどが行われ、にぎやかな一日となりました。



大勢の人がつめかけました

非常時に備えて ～非常招集訓練～

11/13(日)



ビデオを視聴する団員のみなさん

河辺中学校において、大洲市消防団河辺方面隊の非常招集訓練が実施されました。

例年、訓練は屋外で行われていますが、今年はビデオ『木造火災防ぎよ』視聴による座学を主に、屋内体育館で行われました。

大洲消防署川上支署職員によるビデオの解説や質問を交えながら、建物火災の消火陣形、燃焼種別・燃焼時期・延焼経路の予測や火災現場での危険な実例映像を視聴しました。団員のみなさんは、火災現場は非日常の危険にさらされていることを再認識していました。

11/15(火)

若いもんにはまだまだ負けん！！ ～第35回 肱川老人クラブ運動会～

肱川老人クラブ運動会が、大洲市肱川農業者トレーニングセンターで開催されました。

この運動会は、高齢者自らがスポーツに親しむとともに、自己の健康づくりと会員相互の親睦と融和を図ることを目的に開催され、今年で35回目を迎えました。

肱川支部老人クラブ会員166人が参加し、元気で力強い選手宣誓の後、6つのクラブに分かれて全7種のクラブ対抗競技が行われました。

選手のみなさんは、まだまだ若い者には負けないといった熱気と気迫のこもった元気なプレーを見せ、応援席からは歓声が上がっていました。



ラグビーボールと格闘中(?)です。